

広島市基本構想(平成21年10月16日策定)

都市像

国際平和文化都市

施策の構想

- 広島を持つ「平和の求心力」を生かした都市づくり
- 「幸せ」と「まちの元気」の増進を目指した都市づくり
- 広島型「市民自治」を目指した都市づくり

広島市都市計画マスタープラン(平成25年8月改定)

-都市計画に関する基本的な方針-

都市づくりの目標「世界に誇れる『まち』広島」

活力

活力とにぎわいにより、中四国地方の発展をリードする都市

魅力

地域資源を生かした多様で個性的な魅力により、活発な交流が生まれ、平和への思いが共有される都市

快適性

誰もが快適に生き生きと住み続けることができ、幸福が増進される都市

都心活性化プラン(仮称)

- ・現状と課題
- ・目指す姿や将来像
- ・施策の方向性
- ・施策の展開

等

関連計画

- 緑の基本計画 (H22.11)
- 「水の都ひろしま」構想 (H15.1)
- 景観計画 (H26.7)
- 総合交通戦略 (H22.7)
- 環境基本計画 (H19.6)
- 地域防災計画 (H27.3)
- 住まいづくりビジョン (H19.12)
- 自転車都市づくり推進計画 (H25.6)
- 公共交通体系づくりの基本計画 (H27.8)
- バス活性化基本計画 (H27.8) 等

集約型都市構造への転換

- 市街地の無秩序な拡大を抑制し、公共交通にアクセスしやすい場所に居住機能、生活サービス機能などを集積

集約型都市構造の構成

(1) 都心

広島駅周辺地区と紙屋町・八丁堀地区を都心の東西の核と位置付け、都市機能の集積・強化を図ることにより、それぞれが活力とにぎわいのエンジンを持ち、相互に刺激し高め合う「楕円形の都心づくり」を進める。

(2) 拠点地区

- 広域的な都市機能を担う拠点地区の形成(4地区)

中核となるべき機能の集積・強化などにより、活力と魅力のある拠点を形成

宇品・出島地区
(港湾・流通機能、交流拠点機能)



井口・商工センター地区
(流通機能、商業機能)



西風新都
(「住む」、「働く」、「学ぶ」、「憩う」、「護る」という都市機能)



緑井地区
(広島インターチェンジと連携した商業機能、業務機能)



- 地域的な都市機能を担う拠点地区(8地区)
生活サービス機能の充実等により、地域の生活・活動を支える拠点を形成

(3) 交通体系

都心・拠点地区の連携強化により、各地区の機能分担と都市機能の有効活用が図られるよう、公共交通の充実・強化や骨格的な道路の整備に取り組む。

(4) 都市軸

都市構造を明確化するため、人・モノの主要な流れを示す「都市軸」を設定

凡 例	
都心の核	広島駅周辺地区と紙屋町・八丁堀地区
拠点地区	4地区 広域的な都市機能を担う拠点地区
	8地区 地域的な都市機能を担う拠点地区
交通基盤	アストラムライン
	JR線
	路面電車・宮島線
	主要な道路網
都市軸	人・モノの主要な流れ

将来都市構造図

